

1. 地域振興部門

ともに学びともに育つまち

- 【ありたい姿】1. 地域の個性や特色を生かした活発な地域づくり活動が行われている
- ・ 市民一人ひとりが役割を持って活躍する地域づくりの推進
- 【ありたい姿】2. 地域の課題解決に向けて、市民活動がさらに活発になっている
- ・ 様々な分野における市民活動の推進
- 【ありたい姿】3. 多様性を認め合い、互いを尊重するまちになっている
- ・ 男女共同参画社会の推進

やさしさと安心のまち

- 【ありたい姿】10. 市民が地域で生き生きと暮らしている
- ・ スポーツ・運動の推進
- 【ありたい姿】13. 市民が安心して暮らせる環境ができている
- ・ 公共交通による移動利便性の確保
- 【ありたい姿】14. 多くの人に移住・定住している
- ・ 移住・定住の促進

基本構想

【理念】ともに学びともに育つまち

【ありたい姿】1. 地域の個性や特色を活かした活発な地域づくり活動が行われている

基本計画

政策名 市民一人ひとりが役割を持って活躍する地域づくりの推進

現 状

- ・地域づくりを担う住民自治組織として10地域のまちづくり協議会及び51の地区振興会があります。
- ・世帯構造が変化する中で、地域コミュニティ活動に対するニーズが多様化・複雑化しています。
- ・住民自治の確立と自立した地域づくりを進めるため、様々な地域コミュニティ活動が行われています。

課 題

- ・地域コミュニティ活動に対するニーズが多様化・複雑化する中で、行政による画一的なサービスだけでは限界が見えはじめています。
- ・持続可能な地域づくりを行う担い手が不足しています。
- ・住んでいる地域のことを一番よく知っている市民一人ひとりが、地域の将来像や課題を共有することが必要です。
- ・地域の個性や特色などの強みを活かし、その魅力を磨きあげるための取り組みが必要です。

施策計画

1. 協働による地域づくりの推進

- ・まちづくり協議会、地区振興会及び行政区並びに地域の各種団体等を中心とした地域づくりの取り組みを支援します。
- ・地域の個性や特色を活かした活発な地域コミュニティ活動が行えるよう、地域が主体的に取り組む先進的な地域づくり事業に対して、支援を行います。

	指標名	調査方法
成果指標	地区振興会及び地域の各種団体等が主催する地域づくり活動が活発に行われていると感じている市民の割合	市政アンケート

2. 地域づくりを担う人材の育成・支援

- ・地域づくりを主体的に取り組む人材の育成に努めます。
- ・地域づくりを担う人材のネットワーク構築を支援します。
- ・市民一人ひとりが力を合わせて地域づくり活動に取り組むための意識啓発を図ります。

	指標名	調査方法
成果指標	これまでに地域活動（ボランティア含む）に役員やスタッフ等として参加したことがある市民の割合	市政アンケート

関連する SDGs ゴールマーク

基本構想

【理 念】ともに学びともに育つまち

【ありたい姿】2. 地域の課題解決に向けて、市民活動がさらに活発になっている

基本計画

政策名 様々な分野における市民活動の推進

現 状

- ・地域社会における多様化・複雑化する課題については、行政による画一的なサービスでは十分に対応できず、NPO等の市民活動団体が新たな担い手となってきています。
- ・NPO等の市民活動団体は、様々な分野で多種多様な経験・知識・スキルを持ち、地域の課題解決に取り組んでいます。

課 題

- ・NPO等の市民活動団体は、人材不足や活動資金不足となっているところが多く、自立かつ安定した運営基盤の強化が必要です。
- ・個人やNPO等の市民活動団体は個々の活動に留まっていることが多く、多くの人の共感を集めるための活動の情報発信や人的ネットワークの構築が必要です。

施策計画

1. 市民活動団体の運営基盤強化による活動の充実

- ・NPO等の市民活動団体の運営基盤の強化を図るため、組織運営・法人化などの相談体制の充実、セミナーの開催などに取り組みます。
- ・交流会や報告会などを通じて多様な人的ネットワークの拡大を図るとともに、新たな人材発掘の取り組みや学びの場の提供を進めます。

	指標名	調査方法
成果指標	市民活動団体のうち、新たに法人化した団体数	中間支援組織調べ

関連するSDGs ゴールマーク



基本構想

- 【理念】ともに学びともに育つまち
 【ありたい姿】3. 多様性を認め合い、互いを尊重するまちになっている

基本計画

政策名 男女共同参画社会の推進

現 状

- ・政治や行政、経済などあらゆる分野において、方針決定や責任ある立場への女性の登用・参画は十分には進んでいません。
- ・男女共同参画センターを設置するなど、男女共同参画を推進する様々な取り組みを行ってきましたが、依然として社会全体の意識や実態が変わるまでには至っていません。

課 題

- ・政治や行政、経済などあらゆる分野において、男女共同参画の視点からの多様な意見が十分に反映されているとは言えません。
- ・近年各地で頻発する災害においては、性別の違いをはじめ、多様なニーズや課題に対応した配慮が求められています。
- ・男女共同参画が進まない要因としては、長年にわたり人々の中に形成された固定的性別役割分担意識や性差に関する偏見・固定観念、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）などがあります。

施策計画

1. あらゆる分野における女性の参画拡大

- ・市の審議会等における女性委員の登用率の向上を図ります。
- ・企業等に対するセミナー等を通して、女性の活躍推進やワーク・ライフ・バランスの理解を促進します。
- ・災害時の避難所などの対応に男女共同参画の視点を取り入れます。

成果指標	指標名	調査方法
	市の審議会等における女性委員の登用率	各課へ照会

2. 男女共同参画社会の実現のための意識改革と環境づくり

- ・固定的性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消に向けた啓発に取り組みます。

成果指標	指標名	調査方法
	性別によって役割を固定してはいけないと考える市民の割合	市政アンケート

関連する SDGs ゴールマーク



基本構想

【理念】 やさしさと安心のまち

【ありたい姿】 10. 市民が地域で生き生きと暮らしている

基本計画

政策名 スポーツ・運動の推進

現状

- ・近年、スポーツ実施率は上昇しています。
- ・市内には約 90 団体の社会体育クラブが存在し、小学生のスポーツや運動の受け皿として活動が行われています。
- ・市内全域で、高齢者を中心とした 43 の健康運動教室を市主催で行っています。
- ・令和 4 年にスポーツコミッションを設立し、市民の健康づくりや競技力向上を図り、大会や合宿の誘致による地域活性化に取り組んでいます。
- ・スポーツ拠点施設の整備を行っています。
(R5. 7 に 400m陸上競技場等が供用開始予定、
R6. 4 に本渡運動公園多目的広場（人工芝：サッカーコート 1 面）供用開始予定)

課題

- ・市内小学生における体力・運動能力調査の数値が、熊本県平均と比較して劣っています。
- ・障がい者のスポーツ環境が整備されていないと思っている人が多い状況です。
- ・コロナ禍等により、健康運動教室参加者の退会者や休会者が増加しています。
- ・平成 29 年度以降、県民体育祭や郡市対抗駅伝の成績（競技力）が低迷しています。
- ・市内の多くのスポーツ施設は、経年劣化により老朽化が進んでいます。

施策計画

1. 人・健康・体力づくりの推進

- ・市民一人ひとりが、ライフスタイルや目的に応じて、スポーツや運動に親しむことで健康寿命日本一を目指します。
- ・子どもたちはスポーツを通して体力の増進や仲間を思いやる心を育み、心身ともに健全でたくましい子どもを育てます。
- ・競技力の向上に向けては、スポーツ協会等と連携して指導力の高い指導者を養成するほか、スポーツ科学の知見に基づいたサポート等により、競技力を高め心身ともに自律した選手を育成します。

	指標名	調査方法
成果指標	成人（週 1 回以上）のスポーツ実施率	市政アンケート
	健康ポイント事業への参加者数	申請者数集計
	小学生（5 年生）における新体力テスト数値が県平均値を上回る項目数	独自調査

2. 地域・絆づくりの推進

- ・スポーツを通して人と人が結び付き、地域間の交流が促進され、地域の一体感や活力の醸成につながる取り組みを行います。
- ・スポーツを支えるボランティア（組織）を育成し、市民参画のもと様々な取り組みを行います。

	指標名	調査方法
成果指標	市スポーツ協会の種目競技団体が市内で実施する大会の開催数	独自調査
	スポーツボランティアへの市民参加の割合	市政アンケート

3. 大会・合宿誘致の推進と市民と来訪者が交流する機会づくり

- ・スポーツコミッションが中心となりスポーツ大会や合宿で多くの来訪者を呼び込み、市内の宿泊・観光産業と連携して地域活性化につなげます。また、市民とアスリートの交流を図り、市民のスポーツに対する関心度を高めます。

	指標名	調査方法
成果指標	スポーツ大会・合宿誘致者数	申請者数集計

4. スポーツを支えるシステム・基盤の整備

- ・多様化するスポーツニーズに対応するスポーツ施設の整備・充実を図ります。
- ・スポーツ施設の劣化状況等を把握し、計画的な改修等を実施して長寿命化を図るとともに、安全に利用できる施設環境を整備します。
- ・多くの市民に対してスポーツ情報を提供し、スポーツに対する関心度を高めます。

	指標名	調査方法
成果指標	スポーツ施設（社会体育施設、学校体育施設）の年間利用者数	申請者数集計
	スポーツコミッション情報発信ボランティア登録者数	登録者数集計

関連する SDGs ゴールマーク



基本構想

【理念】 やさしさと安心のまち

【ありたい姿】 13. 市民が安心して暮らせる環境ができていること

基本計画

政策名 公共交通による移動利便性の確保

現状

- ・市内には、路線バス、コミュニティバス、タクシー、フェリー、旅客船、海上タクシー、飛行機などの多様な交通機関があり、通勤・通学・通院、買い物などの日常生活において、必要不可欠な公共交通として、重要な役割を担っています。
- ・海に囲まれる天草地域では、産業や観光、地域振興のほか、地域医療に必要な医師の確保にも、フェリーや飛行機などの公共交通が寄与しています。
- ・急速に進む人口減少や少子高齢化による利用者の減少、運転手・操縦士等の人材不足、バスやタクシーなどの車両やフェリー、航空機体の老朽化など、公共交通を取り巻く環境は、さらに厳しい状況になりつつあります。

課題

- ・人口減少や少子高齢化により利用者が減少する中で、公共交通の維持確保とともに、地域の移動ニーズに即した持続可能な公共交通ネットワークの構築が求められています。
- ・市民の公共交通に乗って守るという意識を醸成することで、利用者の維持・増加を図る必要があります。

施策計画

1. 多様な交通サービスの連携による持続可能な公共交通の維持確保

- ・広域拠点（本渡）と地域拠点（牛深）、生活拠点（五和・新和・河浦・天草・有明・栖本・倉岳・御所浦）をつなぐ公共交通の維持確保を図ります。
- ・多様な交通サービスの組み合わせにより、各生活圈域内の移動ニーズや地域の実情に応じた公共交通施策を展開します。

	指標名	調査方法
成果指標	路線バス等の利用者数	利用者集計
	航路の利用者数	利用者集計
	航空路の利用者数	利用者集計

2. 行政・交通事業者・市民等の協働による公共交通の利用促進

- ・ 乗って守る公共交通への意識を高めるため、住民への周知啓発や利用者の増加・維持につながる取組みを、交通事業者と連携して推進します。

成果指標	指標名	調査方法
	利用促進事業等に参加した市民の数	利用者集計

関連する SDGs ゴールマーク



基本構想

【理念】 やさしさと安心のまち

【ありたい姿】 14. 天草での暮らしが共感され、多くの人が移住・定住している

基本計画

政策名 移住・定住の促進

現 状

- ・ 田舎暮らしに憧れ、地方への移住を希望する人が増加しています。
- ・ 漠然と移住を考える段階から移住先の検討を進める傾向が高まっています。
- ・ 都市部の企業においては、テレワークやワーケーションなどを推進しています。
- ・ 都市住民との交流により地域活性化が図られています。
- ・ 空き家等情報バンク制度の推進により、空き家が有効活用されています。
- ・ 自然環境に加え、子育て支援策の充実など本市の施策が移住を決定する魅力となっています。

課 題

- ・ 空き家等情報バンクに登録する空き家等の物件確保が必要です。
- ・ 住まいや就労など多様化する移住相談への対応が必要です。
- ・ 増加する移住相談への対応が必要です。
- ・ 移住後に地域に溶け込むための支援が必要です。

施策計画（課題解決に向けた取り組み）

1. 受入れ体制の充実とつながりの深化による移住・定住の推進

- ・ 都市部等における移住関連イベントへの参加や市独自の移住セミナー、移住体験ツアーを開催します。
- ・ 移住・定住コーディネーターによるきめ細かな相談対応と業務の効率化を図るためのシステム化に取り組みます。
- ・ AI や SNS の活用、相談記録等のシステム化による相談体制の充実に取り組みます。
- ・ 空き家等情報バンクへの登録を促すための周知徹底による登録物件の確保に取り組みます。
- ・ 「ハローワーク」や「ジョブカフェ・天草ランチ」と連携した求人情報の提供に取り組みます。
- ・ 移住に関連する施策を展開する部署と連携した情報発信に取り組みます。
- ・ 移住・定住サポーター登録者の増加による移住後のフォロー体制の充実を図ります。
- ・ 移住漠然層に情報を届けるため、ふるさと住民登録の推進と関係人口の取り組みの充実を図ります。

成果指標	指標名	調査方法
	移住・定住に関する新規問い合わせ件数	問い合わせ件数集計

関連する SDGs ゴールマーク

